

## ドリルのビット交換作業中に指詰め事故が発生

～安全を確保した作業計画・手順の策定を～

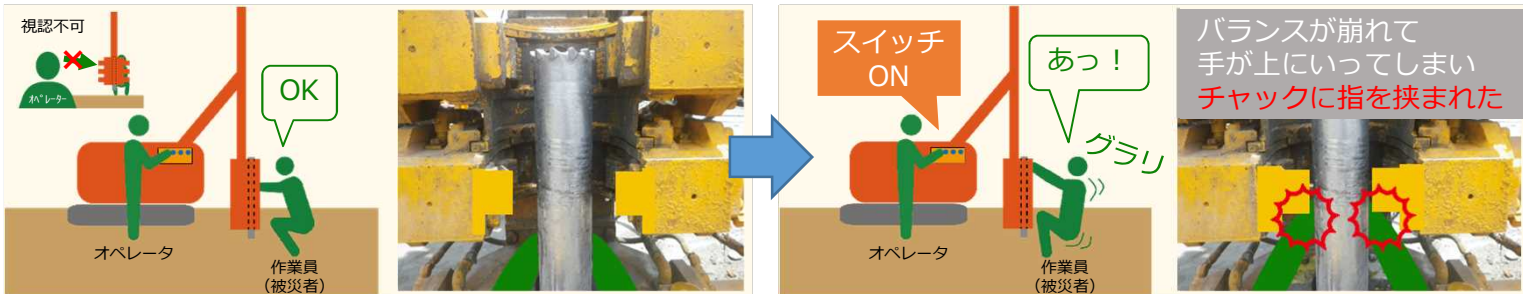
【事故概要】 薬液注入削孔作業において、ロータリーパーカッションドリル先端ビットの交換作業を行っていた際、第2クランプの油圧チャックに作業員の指が挟まれた。

- 【事実経過】
- 事故当時、削孔位置の関係で、オペレータから作業員の手元が目視確認できない状況であったため、オペレータは作業員の掛け声を合図に第2クランプを閉じる操作を行っていた。
  - ビット付きコアチューブからビットを取り外すにあたり、ビットを反転させ（ビットを上向き）、第1クランプのチャック部分よりビットが上にくるよう、作業員は第2・第3クランプの間でコアチューブを手で保持し、ビットの高さ調整を行っていた（その後、第2クランプでコアチューブを固定するまで、作業員は手でコアチューブを保持する必要があった）。
  - 高さ調整が完了し、作業員がオペレータに合図出しを行ったと同時に、<sup>そんきよ</sup>蹲踞の体勢で作業をしていた作業員の足元のバランスが崩れ、手が上方に滑ってしまった。
  - オペレータは、作業員の手が上方に滑ったことに気付かず、マシンを止めなかったことから、作業員の指が油圧チャックに挟まれた。

【被害状況】 3次下請け作業員 右人差し指及び左親指を切断（全治3ヶ月）

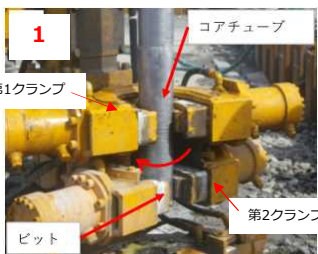
- 【主な要因】
- ① ビット交換に関する作業手順に不備があった（**作業員の指が挟まれる可能性のある手順になっていた**）。
  - ② 指を挟むわけではないと**油断、軽視した**。

【事故発生時の状況（イメージ）】



### 見直し後の先端ビット交換手順

作業員の手・指が挟まれる危険のない作業手順に変更されました



ビット付きコアチューブからビットを取り外す際は反転させず、第2クランプで固定し、第1クランプでコアチューブを回転させてビットを取り外す



コアチューブに新しいビットを装着する（手締め）



ビットのついたコアチューブを第2クランプの上に置き、作業員はマシンから離れてから手を挙げてオペレータに合図をする



オペレータは、作業員の手上げ合図を確認後、レバーを操作し、第1クランプを締める

### 安全な作業方法を確立したうえで、作業を行いましょう

- 作業計画書は事故を未然に防ぐため、“どこ”で“どのような機械・器具”を使って“何の作業”を行うか、どのように進めるか、誰がどの作業を担当するか等の定め、その過程を明らかにすることを目的とし、作成するものです。
- 作業計画は関係者に周知し、確実に実行されなくてはなりません。また、状況の変化に応じ、見直す必要があります。
- “ヒヤッ”とした、“ハッ”としたヒヤリハットは関係者で共有するとともに、必要に応じて作業計画書・手順書を見直しましょう。
- 作業計画・手順書通りに行わなかったことが事故の主な要因であった場合、計画や手順に改善の余地があった可能性も考えられます。
- ひとりひとりが「危ないぞ」と感じる危険感受性を高め、みんなで共有し、話し合い、対策方法を考えることが重要です。

# 引き続き新型コロナウイルス感染予防に努めましょう

～三つの密対策と熱中症リスク軽減を徹底しましょう～

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため「建設業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」が周知・徹底されてきましたが、最新の状況を踏まえ、8月25日に改訂されました。これを機に、今一度工事現場やオフィスの感染防止対策を確認し、更なる対策に取り組みましょう。

◆国土交通省 建設産業・不動産業新型コロナウイルス感染症対策

[https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo\\_const\\_tk1\\_000181.html](https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_tk1_000181.html)

◆あんぜん309号（令和2年5月号）でも本ガイドラインの抜粋を記載しています。



## 新型コロナ対策に伴う熱中症リスク軽減のための取り組み事例

### 高温時におけるマスク着用の取組事例

- マウスシールドやフェイスシールドの活用
- 冷感素材を用いたマスク等の活用
- マスクと併用可能な空調機器等の活用  
(空調機能が付いた作業服の着用や、首掛けクーラーの活用等)
- 現場作業において、特に不要な場合はマスクを外す 等  
(屋外で人と十分に距離を確保できる場合や一人での作業などマスクを外しても良い例外的な場合を明示し、現場で周知等)

フェイスシールド等の活用



冷感素材のフェイスマスクの活用



マスクを外して作業可能な条件を設定

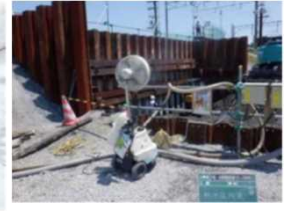
密 (2m未満)	屋内		屋外	
	作業中	打合せ・休憩	作業中	休憩
飛沫防止対策	マスク	マスク	飛沫防止対策	マスク
粗 (2m以上)	作業中	打合せ・休憩	作業中	休憩
飛沫防止対策	マスク	マスク	飛沫防止対策	マスク

×：マスク等を外してもよい  
○：マスク着用、飛沫防止対策を実施

空調機能付きの作業服の活用



扇風機の活用



### 現場作業や休憩所における取組事例

- 現場でのスポットクーラーや扇風機等の設置
- ドライミスト発生装置の設置
- 屋外作業の現場で、送風機等により通気性を確保
- テント付きの屋外休憩所の設置
- 休憩所などにおいて、エアコンと換気扇等を併用 等

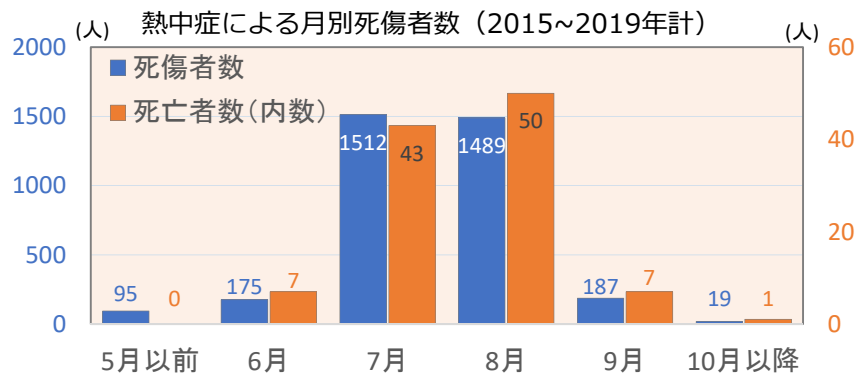
## STOP！ 熱中症

～9月になっても熱中症対策が必要です！～

気象庁の予想では、今年9月の平均気温は平年より「高い」と予想されています。

毎年、9月以降も熱中症の死傷者が発生しています。特に今年は感染予防のためにマスクを着用し、体の熱が逃げにくくなっていることもあり、例年以上に注意が必要です。

**日頃の体温測定や健康チェックは、感染症だけでなく、熱中症を予防する上でも有効です。体調が悪く感じた時は無理せず自宅で静養するようにしましょう。**



「2019年職場における熱中症による死傷災害の発生状況(確定値) 厚生労働省」を基に作成



全国労働衛生週間

令和2年度スローガン

みなおして 職場の環境 からだの健康

準備期間：令和2年9月1日～9月30日  
本週間：令和2年10月1日～10月7日

主唱者：厚生労働省、中央労働災害防止協会